



THE ROTARY CLUB OF SADOWARA WEEKLYBULLETIN

佐土原ロータリークラブ週報

1995・96年度国際ロータリー・テーマ 国際ロータリー会長 ハーバート・グラハム・ブラウン



**Act with Integrity
Serve with Love
Work for peace**

〈本日のプログラム〉

第 410 回 平成 8 年 5 月 17 日(金)

1. 点 鐘
2. ロータリーソング
「それでこそロータリー」
3. 食 事
4. 会 長 の 時 間
5. 幹 事 報 告
6. 各 委 員 会 報 告
7. 会 員 卓 話 吉 田 康 一 郎 君
8. 点 鐘

会 長 藤 堂 孝 一
副 会 長 斎 藤 芳 夫
幹 事 福 井 輝 文
会 計 中 武 靖 雄
会 報 委 員 長 垂 水 敏 雄

佐土原ロータリークラブ
例会日 毎週金曜日(12:30~13:30)
例会場 ホテル神宮寺 ☎0985-73-0015
事務所 ☎880-02佐土原町大字下田島7912
(株) 福井工務店内 ☎0985-73-0291

第409回例会記録

(1996. 5. 10)

☆会長の時間

藤堂孝一君

皆さん今晚は、本日は第409回例会(夜間例会)です。

社会奉仕委員長伊東忠寛君から連絡がありまして、空き缶等投げ捨て防止の立看板が出来上がり、今月14日に町役場主管課に引き渡す運びになった、とのことです。設置工事は町役場で業者を選定して行うそうです。

5月24日の例会時に目録贈呈式を行う予定です。

4月26日の例会で、西都RCの大石太郎氏からご紹介がありました、『宮崎トラベル・サービス』社長山本氏に電話をしましたところ、当クラブにご入会の意志はあるように感じられましたので、来週にでも訪問して入会勧誘をしたいと考えています。事業所は住吉郵便局の近くだそうです。

また、当日(4/26)の帰途、会員増強委員長正岡文郁君と池田仁志君及び私の3名で、上田島地区上中小路に在ります『かぼちゃ』(居酒屋)のマスター林卓美氏を訪問し、ご入会の同意を得ました。入会申込書も提出していただきましたので、本日の例会終了後に理事会を開き、林氏のご入会の審議をお願いし、入会手続きを進めたいと思います。

後で、正岡委員長から林氏のご略歴等についてご紹介があります。

☆幹事報告

福井輝文君

1. 例会変更通知

- *都城西RC 5月15日12:30
高城町レインボーゴルフクラブ
(施設の子供達とのゴルフ)
- *宮崎西RC 5月24日18:00
ホテル浜荘
- *高山RC (鹿児島県)

平成7年度から例会場を下記に変更
「なぎさ荘」(吾平町)

2. 5月19日(日)に鹿児島市で開催される第2730地区協議会の出席者は、17名でホテルにも予約してあります。やむを得ない事情で欠席または代理者出席に変更される方は、至急幹事までお知らせください。

なお、前日(5月18日)のマイクロバスの出発は16:00です。

[指名出席者]

伊東忠寛君・赤木運也君・宮原建樹君
梶田與之助君・吉田康一郎君・恒吉正志君・福井輝文君・濱田松太郎君・林厚雄君・野崎宗志君・加藤仙之君
松田清隆君・池田仁志君・正岡文郁君
大野高志君・藤堂孝一君・伊東俊春君

5月セレモニー

今月誕生日、結婚記念日をお迎えになる次の方に、会長より記念品をお贈りして、会員一同心から祝福申し上げます。

[誕生日祝い]

岩切正司君 松田清隆君
佐野会員令夫人 藤堂会員令夫人
恒吉会員令夫人 加藤会員令夫人

16%

[結婚記念日祝い]

岩 切 正 司 君

☆受祝者のハッピー・ボイス

本日は誕生日お祝いのカンノンチクを頂き、有難うございました。

佐土原ロータリークラブのご発展を心からお祈り申し上げます。

今後ともよろしく願ひいたします。
佐野エイ子

今年で43歳、これでいいのかなー。お祝いをいただきまして、ありがとうございます。

これからもがんばっていきたく思います。これからもよろしく願ひいたします。 岩 切 正 司

☆出席報告

委員長 恒 吉 正 志 君

会 員 数	32名
H C 出席者数	25名
欠 席 者 数	7名
出 席 率	78.1%
メークアップ者数	4名
修正出席率	90.6%
欠 席 者 名	森田・大野・宮原

☆会員増強委員会

より

委員長 正 岡 文 郁 君

先程、藤堂会長からご報告がありましたように、上田島地区で居酒屋『かばちや』を経営しておられます林 卓美氏を4月26日に訪問（藤堂会長・池田前会長と）し、当クラブへのご入会を勧めましたところ、「若輩でお役に立たないが入会をさせていただけるなら幸いである」と快諾していただきました。

本日、濱田会員選考委員長及び福井幹事に、林氏の推薦書と入会申込書を提出しておきましたので、例会終了後の理事会でよろしくご審議のほど願ひ申し上げます。

◇ 林氏のご略歴紹介 ◇

氏 名 林 ^{たくみ} 卓美
 昭和38年12月6日生
 住 所 佐土原町大字上田島1664-1
 学 歴 宮崎県立宮崎水産高等学校卒業
 職 歴 水産会社遠洋漁業部
 潜水士
 現 職 居酒屋経営者
 ご家族 恵子夫人（昭和33.11.2生）
 長女・次女
 結婚日 平成2年10月14日
 趣 味 バイク（ツーリング）

☆米山契学会報告

委員長 濱 田 松 太 郎

1996年5月現在の当クラブの米山契学会への寄付金は年額一人当たり1,000円で、計31,000円です。累計して普通寄付金156,500円、特別寄付金14,000円になっています。できればもう少し増額を……。

☆会員卓話

福田 誠 君

私の父は昭和時代の初めに渡満して満鉄に入社し、その後23年間大連市に居住しました。私は昭和21年に同市で生まれ、昭和23年に家族揃って日本に引き揚げてきました。私は6人兄弟の一番末で、長兄とは22歳も離れていましたので、兄や姉に手を引かれたり、背負われたりして、どうにか帰国することができたのだそうです。

昭和26年頃までは親戚に居候の状態であったように覚えています。やがて父は畑を借り、細々と農業を営んで来ましたが、昭和40年に65歳で亡くなりました。私が丁度高校3年生（普通科）の時でした。末子であった私は、父の家業を継ごうと決意し、今日までハウス園芸一筋に生きてきました。

昭和46年に養鯉業も手掛け、平成3年まで農業と両立させてきました。

また、その間、農業の最先進県である高知県を数十回視察して農業技術を研修し、養鯉業関係では、韓国に10回以上行きました。その他、台湾、中国、タイ、カナダ、フィリピン、アメリカの農業等も視察しました。その結果感じたことは、日本の農業のすばらしさでありました。

大国アメリカでさえ、粗放農業しかできない国です。中国も、土地は広大ですが、野菜を栽培する恵まれた土地は僅かです。奥地は殆ど山地か砂漠で、自国の食糧供給もままならぬ状態です。

ところで、最近わが国の消費者間では、

無農薬・有機農業が叫ばれております。

しかし、無農薬・有機農業を消費者が求めれば求めるほど、どんな農薬が使われているかも知れない外国の野菜を食べることになるのですよ、と私は言いたいのです。

現在でも日本の食糧自給は50%を割って、45%くらいだそうです。皆さんが、全く農薬のかかっていない、化学肥料の使っていない野菜を食べたい、とかいうことを過剰に要求されると、食糧の国内自給率はますます下がって行くわけです。下がって行った分ほど、アメリカや中国やベトナムやタイなどから、日本では現在禁止されている有害な農薬のかかった穀物・野菜を輸入することになるのです。

生活協同組合のスーパー内で、農産物納入業者と消費者との懇談会が開かれています。ご婦人たちは、無農薬の洗脳を生協から受けていますので、無農薬でないといけないという観念を持っておられます。減農薬の野菜を、これは無農薬野菜ですよと言えば、本当においしいと必ずご婦人方は答えられます。多分に感覚的なものがあるように思われます。

現実には、今後とも食糧需給の面で、無農薬、有機農業は主流にならないと私は思います。減農薬作物を無農薬と言って出荷しているのが実情です。

有機だけでは野菜は育ちません。無農薬でも農作物はできません。経済性を伴った生産ができないのです。

無農薬、有機農業に過敏にならず、現実を直視していただきたいと思います。